

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
トータテ東白島PJ(西棟)

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版  
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.38</b>					<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.2</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.7</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
1.2 遮音		<b>1.0</b>	0.40	<b>3.5</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	RC壁t=220、乾式壁部TLD=57	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	直貼りフローリング性能LL-45			4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>2.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.7</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温設定		3.0	0.62	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>2.0</b>	0.20	-	-			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.8</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光率	集会室(机上高h=750):2.65%、AタイプLD(机上高h=750):9.10%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口					0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
2 昼光制御	共用部:ブラインド+庇、住戸部:カーテンレール(BOX)+庇	4.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
1 照度		3.0	1.00	-	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.0</b>	0.25	<b>4.3</b>	1.00			<b>4.2</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	室内、天井裏ほぼ全面的にF☆☆☆☆	4.0	1.00	5.0	1.00			
4.2 換気		<b>4.0</b>	0.40	<b>3.3</b>	0.38			
1 換気量	1.4倍以上を確保	5.0	0.50	4.0	0.33			
2 自然換気性能	約1/3程度の開閉可能な窓を有している	-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.6</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		-	-		-			
2 高度情報通信設備対応	NTT, CATV, 電力会社系の引き込み対応と、ケーブルラックの敷設	-	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画	広島県福祉のまちづくり条例への適合	4.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	住居 LD、洋室、和室天井高さ 2.5m	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-		-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.3</b>	0.31					<b>3.3</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.2</b>	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能	住棟:基礎免震装置の設置	4.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.6</b>	0.33					
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級1	3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	住棟:磁器質タイル40年、駐車場:ガリバリウム鋼板40年	5.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:B、汚水排水:B、雑排水:B、通気:B、消火:C	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.4	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	節水型便器、自動水栓を採用、受水槽は2基を分離して設置	4.0	0.20		-	
3	電気設備	地上階に非常用発電設備を設置	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	止水対策あり。通信手段の多様化を図っている	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			2.9	0.29	3.6	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			2.2	0.06	4.2	0.50	
1	階高のゆとり	住棟階高:3.05m	1.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	駐車場棟の壁長さ比率0.101	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.06	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.88		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.32	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	駐車場を100%以上確保。敷地内の遺構である、広島城の石垣を再利用	4.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.32		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.22		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		エコキュートを採用 ERR=85.2	5.0	0.41		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.06		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	節水型便器、自動水栓の採用	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.94		-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.06		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63		-	3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭:高炉セメントB種	4.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	小便器:TOTO UFS800CE、自動水栓:TOTO LS800G、タイル:INAX ピアッツア	5.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	ALCをロッキング仕様としているため、躯体+LGS+仕上の採用	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	
1	消火剤	ハロン消火剤の使用なし	4.0	0.33		-	
2	断熱材		3.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2の排出量の少ない計画としている	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮			3.6	0.33		-	3.6
2.1	大気汚染防止	燃焼機器の使用なし	5.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	指導要綱に基づく雨水流出量の抑制を実施	4.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐輪場200%以上、駐車場(自走式)100%以上確保。駐車場への導入路を設け渋滞発生を抑制	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.5	0.33		-	3.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.7	0.40		-	
1	風害の抑制	風洞実験を行い、ビル風対策(防風林)を実施	4.0	0.70		-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告物の設置なし	5.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	